



2022-23年度RI会長

ジェニファー・ジョーンズ

第2640地区ガバナー：森本 芳宣

田辺東ロータリークラブ

創立：昭和49年5月15日

会長：岡本 博

幹事：前田 吉彦



例会場/事務所：田辺市下屋敷町81-10

きのくに信用金庫田辺支店3F

Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008

<http://tanabe-east-rc.com/>

E-mail info@tanabe-east-rc.com

例会：毎週水曜日 12:30～

ビジターフィー ¥2,000

## 〇会長報告

会長 岡本 博



- 本日のお客様は、  
田辺市建設部管理課 課長 前溝浩志様  
田辺市建設部管理課公園係 主査 吉田周平様です。  
後ほど宜しく申し上げます。

- 本日のお弁当は「この葉」さんです。  
ご賞味ください。



- 海南ロータリークラブから、新事務所への移転のお知らせが届きました。

新事務所：和歌山県海南市名高504-1

電話番号：073-483-0800（変更なし）

FAX番号：073-484-3557

- 10月25日(火)田辺市暴力追放協議会、街頭啓発パレードが開催されました。

ご参加いただいた皆さん、ご苦労様でした。

## 〇幹事報告

幹事 前田 吉彦



- 例会日時変更
- ◎田辺はまゆうロータリークラブ  
11月8日(火) → 18:30～(夜間例会)  
《新会員歓迎会》場所：ル・カプリス(田辺市神島台)  
11月29日(火) → 休会
- ◎白浜ロータリークラブ  
11月3日、25日(金) → 休会
- ◎那智勝浦ロータリークラブ  
11月3日(木)、24日(木) → 休会  
11月10日(木) → 大門坂石碑周辺の清掃活動  
(例会変更)
- ◎串本ロータリークラブ  
11月8日(火)、22日(火) → 18:30～(夜間例会)  
場所：旧ヒルトップ和田金  
11月29日(火) → 休会(第5週の為)
- ◎有田ロータリークラブ  
11月3日(木)、24日(木) → 休会
- ◎和歌山東ロータリークラブ  
11月17日(木) → 11月18日(金) 16:00～(例会変更)  
場所：長野県松本市 ホテルエナピスタ  
(松本空港ロータリークラブ創立35周年記念式典)

- ◎和歌山北ロータリークラブ

11月7日(月) → 休会

11月14日(月) → 18:30～(例会変更)

場所：アパローム紀の国

(和歌山アゼリアRCとの合同夜間例会)

- ◎和歌山中ロータリークラブ

11月11日(金) → 11月9日(水) 18:30～

(和歌山東南RCとの合同例会)

場所：アパローム紀の国

11月4日(金)、25日(金) → 休会

- メイクアップ

10月25日(火)田辺市暴力追放協議会 街頭啓発パレード  
愛須勝章君、泉房次朗君、岡本博君、佐田一三君、  
坂本正人君、竹中悟君、玉置佳範君、谷本司君、  
渡口真二君、山本亘君

- 回覧

- ◎海南ロータリークラブ

「新事務所への移転のお知らせ」

- ◎T-LIFE パートナース株式会社ロータリー室より

「2023年国際ロータリー年次大会(メルボルン大会)

参加旅行募集案内送付のご案内」

- ◎盲導犬を育てる会

「盲導犬チャリティカレンダーご協力をお願い」

## ○本日の唱歌

「故郷」

唱歌 谷本 司君



## ○出席報告

会員数 37名 義務免除 5名 本日の欠席者 4名  
本日の出席率 87.5%

## ○ゲスト

田辺市建設部管理課

課長 前溝 浩志 様

田辺市建設部管理課公園係

主査 吉田 周平 様



## ○にこにこ報告

(敬称略)

◇田辺市建設部管理課 課長 前溝浩志様  
同課公園係 主査 吉田周平様

をお迎えして

愛須勝章、上原俊宏、岡本博、片井貢、畔田実、  
佐田一三、武田静也、竹中悟、竹村英一  
谷中順次郎、谷本司、玉置佳範、中嶋伸和、  
平林圭介、本田耕二、前田吉彦、真下京、  
森本修至、山本亘

◇前溝課長、吉田主査ようこそいらっしゃいました。  
再来年には熊野桜を寄贈致します。楽しみにして  
いてください。 坂本正人

◇言葉間違い。昨日結婚記念日の花が届きました。  
嫁に”おめでとう”と言ってら、”ありがとうございます”  
と言われました。 橋本隆

◇前溝課長、吉田主査ようこそ。第61回花いっぱい  
田辺大会大いにPRを！ 泉房次郎

◇花は大好きです今日は楽しみです。秋の七草ご紹介  
します。ハギ、オバナ、クズ、オミナエシ、フィジ  
バカマ、ナデシコ、キキョウ、”ハスキーなおふる  
ろ”と覚えてください。 吉田和枝

◇お花いただきます。 西谷貞彦

☆本日もニコニコありがとうございます。

10月25日(火)田辺市暴力追放協議会  
街頭啓発パレード

## ○暴力追放パレード



10月18日(火) 地区大会記念ゴルフ大会

## ○地区大会記念ゴルフ大会

20位 坂本正人君



## ○本日のプログラム

田辺市建設部管理課  
課長 前溝 浩志 様



### 「第61回全日本花いっぱい田辺大会について」

皆様こんにちは。ただいまご紹介いただきました、第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会事務局長の前溝でございます。

私が着ていますこのポロシャツと法被は、今年度に入って田辺大会のPRのために作ったものですが、本日は、田辺大会のPRをさせていただくせっかくの機会でもありますので、この衣装でまいりました。

ちなみに、このオリジナルポロシャツは、私がきょう着ている白色以外に8色取り揃えています。白色は胸にあしらった大会ロゴマークがカラーになっており、この白色のポロシャツがオフィシャルです。

一方、白色以外のポロシャツは、胸にあしらった大会ロゴマークはすべて白色で、左袖には、大会テーマである、「花咲かそう！ 街咲かそう！ 人咲かそう！」をプリントし、背中には、ラテン語で「In Fllore」とプリントしています。和訳すると、“花咲かそう”という意味ですが、白色以外の8色のポロシャツすべてがこのような仕様となっています。

このオリジナルポロシャツは、市民の皆様方にもお買い求めいただきましたが、市外の方にも購入いただき、生地等も含めて大変好評を得ております。



さて、早いもので、花いっぱい田辺大会の開催まで半年を切り、きょうで150日となりました。本日は、令和4年度におけるこれまでの取り組み状況等も併せて、20分余りお時間をいただきまして、お話をさせていただきたいと思っております。

また、前方のスクリーンには、取組に係る画像が映し出されますので、こちらもお覧いただきながらお聞きいただければと思います。

田辺市におきましては、かねてより、花とみどりいっぱい運動を積極的に推進しており、独自の花まつりを開催している町内会などもあります。

本市では、昭和58年（1983年）に結成された、本市の花いっぱい運動のパイオニア的存在でもある“NPO法人花つぼみ”を中核として、自治会や町内

会単位での花いっぱい運動への取り組みも活発で、真砂市長の言葉をお借りすれば、「田辺市でいつ花いっぱい大会が開催されても十分その環境が整っている」というくらい、以前から花いっぱい運動に対する市民意識の高いまちでございます。

この花いっぱい運動の原点は、まだ戦争の影響が色濃く残り、人々の心にも余裕が持てない時代の中で、社会を美しく、また花を通じて人々の気持ちをより豊かにし、人の心に美しい大輪の花を咲かせることを活動理念として取り組んできた運動ですが、昭和27年4月8日、長野県松本市において、当時小学校の教員をされていた小松一三夢（こまついさむ）先生の提唱により始まりました。

この花いっぱい大会は、昭和30年11月に松本市で全国結成大会が開催され、和歌山県では、平成14年4月の第45回和歌山大会以来、20年ぶり2度目の開催となる田辺大会が、令和5年3月25日（土）、26日（日）の2日間の会期で開催されます。

主催は、第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会と全日本花いっぱい連盟で、田辺市及びNPO花つぼみによる共催、後援が和歌山県、和歌山県花を愛する県民の集いなど20団体でございます。

また、本大会の趣旨に賛同いただいた「個人や各種団体」の方々が、花いっぱいサポーターとして、協賛、協力をいただきます。

大会の内容としましては、3月25日は前夜祭と銘打って、全国各地からお越しの全日本花いっぱい連盟加入の花団体の皆さん方をお招きした「交流レセプション」を、ガーデンホテル・ハナヨアリーナで開催します。

翌26日は、紀南文化会館大ホールにおいて大会記念式典を行い、式典終了後は、本大会のメイン会場となる新庄総合公園に移動して、クマノザクラの記念植樹、大会記念モニュメントの除幕式を行います。

大会関連イベントにつきましては、大会期間中の2日間にわたり、本市最大の都市公園である新庄総合公園をメイン会場として開催いたします。



田辺大会のテーマである、「花咲かそう！ 街咲かそう！ 人咲かそう！」は、本大会の中核メンバーでもあります。「NPO法人花つぼみ」が掲げる活動指針でもありますが、「花を愛し、ふるさとを愛する心を育み、花と緑にふれあう」花いっぱい運動を実践することにより、田辺市の次の世代にも、“花を育て、心を育む”私たちの想いをつなげていきたいと思っています。



「本大会のロゴマーク」は、全国から285作品の応募があり（応募総数208人）、東京都在住の浅澤祐里（あさざわゆり）さんの作品が採用されました。

この作品には、「色とりどりの花をたくさん散りばめて、花いっぱい運動創始者の小松一三夢（こまついさむ）先生の『花を通じて人々の気持ちを豊かにする』という浅澤祐里さんの願いが込められています。

「大会記念モニュメント」は、田辺大会らしいモニュメントとなるよう、地元、龍神村在住のチェンソーアート元世界チャンピオンの城所ケイジさんに、特産の木材を利用した作品の製作を依頼し、完成作品は新庄総合公園内の大会レガシーエリアに設置します。



ここで、花いっぱい田辺大会に向けたこれまでの取り組みについて、ご紹介させていただきます。

令和2年度に、市長を会長とする第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会を組織し、令和3年度に実行委員会の下部組織として、大会運営部会・イベント部会・緑化花装飾部会の3部会からなる企画運営委員会を立ち上げ、3部会ごとにワークショップ形式で委員の皆さん方がいろんな意見を出し合い、そこで出された意見やアイディア等を踏まえて最終的な事業メニューを決定し、実施計画書を作成しました。

そして、この実施計画書に基づき、それぞれの事業メニューに係る詳細な工程づくりや組織体制の構築などに取り組んでまいりました。

次に、「大会スケジュール」についてであります。大会1年前の本年3月26日、新庄総合公園において開催されましたNPO法人花つぼみ主催による花まつりに併せて、大会1年前となる“キックオフイベント”を開催し、新庄総合公園に設置されたカウントダウンボードの除幕式を行いました。

本年4月からは、個人や各種団体、各事業所を対象に「花いっぱいサポーター」の募集を開始しており、8月からは花いっぱいコンテストの参加者を募集しています。

9月初旬には、私立幼稚園の子どもたちが、新庄総合公園でコスモスの苗植えを行い、去る9月11日に開催された「和歌山県花を愛する県民の集い」主催の「花のまちづくり体験」では、多くのボランティアの方々と一緒にコスモスの苗植えを行いました。

今後の予定といたしましては、12月から1月にかけて、メイン会場となる新庄総合公園において、幼稚園の子どもたちにも参加をいただき、大会時に新庄総合公園が花いっぱいになるように、チューリップやパンジー、ピオラなど春咲きの花を植えるほか、各種団体の協力を得て、歓迎装飾用のプランターへの花の寄せ

植えを行います。

「広報・啓発活動」につきましては、市の広報誌をはじめ実行委員会のホームページ等を用いて適宜、効果的な情報発信に努めています。

具体的には、3月27日に新庄総合公園において開催した“春の花まつり”のほか、4月下旬開催の“田辺商工フェア”において本大会のPRブースを設け、啓発活動を行いました。

新型コロナウイルス感染防止のため開催が見送られていた「弁慶まつり」が、去る10月1日、実に3年ぶりに開催されたのは記憶に新しいところですが、扇ヶ浜カッパークに田辺大会のPRブースを設置し、オリジナルポロシャツの販売や啓発グッズ等を配布し、大会機運の醸成を図りました。

また、弁慶まつりと同日に、ガーデンホテル・ハナヨアリーナにおいて開催された、和歌山県花を愛する県民の集い大会におきましても、花いっぱい田辺大会のPRブースを設置し、オリジナルポロシャツや田辺市の特産品を販売し、本大会に向けて積極的なPRを行いました。

今後も、11月27日開催の生涯学習フェスティバルなどの比較的大きなイベントに参加し、花いっぱい田辺大会PRブースの出店や啓発グッズ等の配布を行い、大会機運の更なる醸成を図っていきたくと思います。

次に、「市民運動（花いっぱいサポーター）」につきましては、4月から「協賛型」及び「花育型」からなる花いっぱいサポーターを募集しており、市内の事業所や各種団体、市民の皆さんとの協働を図ってまいります。「協賛型」については、協賛金や物品を対象としたもので、「花育型」は、おもてなしの視点から、歓迎装飾用の花の寄せ植えに係るサポーターです。

「子どもたちによる花育活動」は、市内の幼稚園や保育所・認定こども園、小中学校の児童・生徒の皆さんに「花いっぱい運動」の理念を体験してもらい、大会を共に作り上げる参加意識の醸成を図るのが目的で、約1,500個の花の寄せ植えプランターの作成協力をお願いするものです。

一方、「地域による花育活動」は、子どもたちによる花育活動と同様、町内会や自治会の皆様の参画をいただき、約1,000個の花の寄せ植えプランターの作成協力を見込んでいます。

なお、このプランターは、SDGs（持続可能な開発目標）の理念に即して、一部、木製プランターを製作し、使用することとしています。



続いて、「大会運営」に移ります。

大会機運の醸成を図る各種イベントにつきましては、4つのメニューを用意しました。

一つ目は、先ほども少し触れましたが、本年3月27日に、開催1年前イベントと題して開催された、NPO花つばみ主催の「花まつり」に併せて、啓発ブースを出店し、啓発グッズや花の種、大会チラシ等を配布するほか、新庄総合公園に設置したカウントダウンボードの除幕式を行いました。

二つ目の「花いっぱいコンテスト」は、県内に在住・在勤・通学の人を対象に、各ご家庭や事業所で育てた花壇や生け花、フラワーアレンジメント等の写真や押し花など、花を主題としたコンテストで、8月から募集を開始しています。

三つ目の「ガーデニングコンテスト」は、10月29日(土)・30日(日)に新庄総合公園で開催されます、NPO花つばみ主催のコスモスまつりにおいて、来場者の皆さんを対象に実施します。

花と緑のデザインや演出等を創意工夫し、木製プランター内にひとつの庭を作り上げる表現力のアピールとともに、その作品をご覧になった来場者の方々が、ガーデニングへの興味を持っていただくことを期待しています。

四つ目の「花いっぱい講習会」は、季節に合った花を題材に、さまざまなアレンジを加えることで新たな表現方法を得る目的で、本年7月から大会直前の来年2月までの全5回にわたって開催します。既に2回の講習会が終了していますが、参加者の皆様方には大変好評を得ています。



次に、「沿道装飾、歓迎看板等の歓迎装飾」は、本大会への参加者を花いっぱいでお出迎えするため、主要幹線道路沿いへの歓迎装飾用花プランター及び歓迎看板等を設置します。

設置物につきましては、花プランターが約2,500個、看板等16か所、その他、大会啓発に係るのぼり等の設置を予定しています。

次に、大会前夜祭と題して、3月25日にハナヨアリーナにおいて開催する「交流レセプション」は、全日本花いっぱい連盟加盟加入の花団体の皆さん方が、それぞれ交流親睦を深めることを目的に実施します。

私ども事務局といたしましては、田辺の魅力的な食やアトラクションで精いっぱいのおもてなしをしたいと思っています。主な内容としましては、地元の団体やサークル等で構成された方々による、和太鼓や炭琴演奏のほか、おもてなしブースの設置、ウェルカム花火により花を添えます。

「おもてなしブース」は、大会参加者の方々に、田辺の食の魅力伝えることを目的に、梅酒や銘菓の試飲・試食サービスを行い、ツアーデスクでは、大会後の旅程の提案から交流レセプション後の二次会の案内まで幅広く対応したいと思います。

「ウェルカム花火」は、全国から参加されている花団体の皆様への歓迎の意と花いっぱい大会開催のアピールという意を込めまして、500発の花火を打ち上げ、市民の皆さんに広く周知を行いたいと思います。

「大会記念式典」は、3月26日(日)の午前10時から紀南文化会館大ホールにおいて開催します。

主な演出としましては、田辺市の紹介映像や花いっぱい運動に係る取組映像のほか、法螺貝のオープニングファンファーレに続く和太鼓の演奏、創作ダンスなど、地域で日常的に活動されている方々にご出演いただき、記念式典に花を添えたいと思います。

「大会記念品」は、参加される方々の思い出となるような大会名が入ったものや本市が誇る地域産品をお持ち帰りいただきたいと考えており、その一部は、花いっぱいサポーターによる調達を行います。

「記念植樹」は、紀南文化会館における式典終了後、12時30分からメイン会場となる新庄総合公園に移動して開催します。

植樹する木は、平成30年に新種と判断された紀伊半島南部が原産の日本の固有種のサクラである「クマノザクラ」です。

「大会関連イベント」は、大会期間中に多くの市民の皆さんが参加でき、大会を身近に感じていただけるよう、春の花が咲き誇る新庄総合公園において実施します。

内容としましては、ミニ物産市やキッチンカー、飲食ブースの設置のほか、野外音楽堂では、よさこい踊りやチェンソーアート等の各種ステージイベントを、また、公園内に位置する市立美術館では、花に関する展覧会を開催します。

なお、来場者用駐車場につきましては、公園内駐車場のほか近隣の市立神島台グラウンド及び紀南こころの医療センターグラウンドを確保しています。



次に、「輸送・配宿・交通警備」につきましては、大会参加者の利便性向上のため、シャトルバスを運行し、駐車場混雑の緩和とともに、式典会場からメイン会場への移動も賄います。

配宿業務につきましては、旅行エージェントに委託し、大会前後のオプションツアーの提案をはじめ、交流レセプション会場等には、県外からの参加者を対象としたツアーデスクを設置します。

交通警備」は、本大会の運営を安全かつ効率的に行うため、交通案内警備係を配置するほか、会場内における催事やイベントブースなどの案内看板を設置し、来場者にとってわかりやすいサインの充実に努めたいと考えています。

次に、本大会の記録などをまとめた「大会記念誌」は、令和5年度の早い時期に発行したいと考えています。

最後に、“未来へ”と題して、本大会を契機に高まった機運が一過性のものにならないよう、大会に向けて拡張した花壇を、田辺大会の「レガシーエリア」と位置づけ、本大会終了後においても、花いっぱい運動の理念を未来につなげ、市民の皆さん方が気軽に参画できるエリアにしたいと思います。

花壇の中央には、記念モニュメントを設置し、花壇脇には、クマノザクラを本大会の記念植樹として植えます。

結びに、花いっぱいの地域づくりが将来にわたって継続し、田辺市が目指す“人と地域が輝き、未来へつながるまち田辺”の実現につながるよう、引き続き、市民の皆さんや関係団体の参画を得ながら、大会の成功に向け「オールたなべ」で取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様方のご支援ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上で、第61回全日本花いっぱい田辺大会のこれまでの取り組み、そしてPRを終わります。

10月29日と30日の2日間は、新庄総合公園におきまして、コスモスマつりが盛大に開催されますので、皆様方のお越しを心からお待ち申し上げます。

ご清聴、誠にありがとうございました。



第61回全日本花いっぱい田辺大会

花いっぱいサポーター 募集中!

花咲かそう! 街咲かそう! 人咲かそう!

第61回全日本花いっぱい田辺大会

イベント (令和5年度中)

- ★ 花いっぱい講習会 (全5回)
- ★ 花いっぱいコンテスト (写真・押し花・モザイクアート) [募集期間: 8/1 ~ 11/30]
- ★ ガーデニングコンテスト 10月29日・30日開催

令和5年 (2023年) 3月25日 ▶ 26日

会場 新庄総合公園 (ほか)

- 大会記念花火 (25日)
- 大会記念式典・記念植樹 (26日)
- 大会関連イベント (25・26日)

★ 大会ホームページ

第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会 (事務局: 田辺市建設部管理課公園係内)

HP [https://www.city.tanabe.lg.jp/kanri/hanaippai\\_tanabe/](https://www.city.tanabe.lg.jp/kanri/hanaippai_tanabe/)  
 電話 ☎ 0739-26-9966 (平日のみ 8:30 ~ 17:15)  
 Eメール ✉ 61hana@city.tanabe.lg.jp

田辺市 花いっぱい 検索

アクセス方法は、ウェブで検索するか上記のQRコードを読み取ってください。



## 〇今日のお弁当

本日のお弁当は「この葉」さんのお弁当でした。美味しく頂きました。



## 〇次回プログラム

- ◎11月2日 田辺市 教育委員会 文化振興課  
南方熊楠顕彰館 岡本 裕文様
- ◎11月9日 西牟婁振興局健康福祉部  
保健課長 齊藤 典代様
- ◎11月16日 田辺市 教育委員会 生涯学習課  
地域教育指導員 谷本 敬介様

四つのテスト: 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか